

ホタルも棲める良い自然プロジェクト

中部学園 5 年生によるホタル放流会 (新聞報道)

静岡新聞 2017年11月15日(水)

放流会実施日2017年11月10日(金)

浜松城公園の水路
 蛍の幼虫 800 匹放流
 浜松中部学園の児童
 浜松市の小中一貫校
 の浜松中部学園（浜松
 市中区）5年生がこの
 ほど、蛍の幼虫を同区
 の浜松城公園芝生広場
 の水路に放流した。



蛍の幼虫を放流する児童＝浜松市中区の浜松城公園

児童 87 人が同校で信
 州大の藤山静雄教授か
 ら蛍の住みよい環境な
 どについて話を聞いた
 後、同公園に移動し、
 1 時前後の幼虫が入っ
 たプラスチックのカッ
 プを静かに傾けて計約
 800 匹を水路に放つ
 た。川上翔悟君(10)は
 「きれいな環境でなけ
 れば蛍は住めない。こ
 ろみ捨てたりしないよ
 う気をつけたい。来年
 成虫を見に来たい」と
 話した。

放流会は中区の建設
 総合コンサルタント
 「フジヤマ」が社会貢献
 活動として行っている
 プロジェクトの一環。
 今年で3年目で、これ
 まで同水路に幼虫約1
 100 匹を放流した。

中日新聞 2017年11月15日(水)



水路に向かってヘイケボタルの幼虫を放つ
 子どもたち＝浜松市中区の浜松城公園で

ヘイケボタル 光る日楽しみ

浜松城公園 児童が幼虫放流

浜松市中区の浜松中
 部学園の5年生八十七
 人が、近くの浜松城公
 園で、ヘイケボタルの
 幼虫八百匹を放流し
 た。

子どもたちは、学園
 内で藤山静雄信州大名
 近な生き物のホタルが

菅教授(生態学)から
 ホタルの種類などの説
 明を聞いたのち、公園
 へ。体長一センチ前後の幼
 虫を、水路に放してい
 った。

西川心結さんは「身

(県内で)絶滅の恐れ
 があると知った」と驚
 いた様子。丸大智君は
 「できるだけ多く成虫
 になってほしい。来年
 に見に来たい」と笑顔
 で話した。
 (古根村進然)